

(書面審議)第 106 回資金管理業務諮問委員会 議事録

1. 書面審議期間:2024 年 9 月 24 日(火) ～ 9 月 30 日(月)
2. 委員:菅原委員長、井岡委員、大沼委員、佐々木委員、高岡委員、村上(進)委員、村上(千)委員、山田委員 以上 8 名
3. 議 題:(1)2024 年度第 1 四半期の概況 (報告事項)
(2)2024 年度第 1 四半期の決算報告 (報告事項)
(3)2024 年度第 1 四半期の運用実績 (報告事項)
4. 議事録
(1)2024 年度第 1 四半期の概況 (報告事項)

<主な意見>

【委員 A】

日銀が利上げを示唆している中で、JARC はその影響をどのように考えているか。

【事務局】

本財団は、取得債券の満期保有を原則とした運用をしているため、市場金利の上昇は、運用利回りの上昇と運用収益の増加につながり、メーカーへ払い渡す額が増加する。

- (2)2024 年度第 1 四半期の決算報告(報告事項)

<主な意見>

【委員 B】

預託金の 1 台当たりの平均単価について、2019 年度から 2020 年度にかけて減少幅が大きくなっているのはなぜか。

【事務局】

新冷媒の普及に伴い、新車において、自り法対象となる旧冷媒の装備率が低下したことが主要因と推察される。当期間における旧冷媒の装備率は、約 88%から約 65%へ大きく低下している。

【委員 B】

非認定全部利用の発生台数が増加していることに注目している。調査・分析を継続してほしい。

【事務局】

承知した。12 月の諮問委員会での報告を予定している。

(3)2024 年度第 1 四半期の運用実績(報告事項)

<主な意見>

【委員 B】

地方自治体などさまざまなセクターから ESG 債が発行されていることに注目している。JARC においても、保有債券全体に占める ESG 債の割合がさらに増えていくことに期待している。

【委員 C】

ESG 債の保有債券全体に占める割合が 3.6%にまでなったことは大変良いと思う。一方で、積極的に ESG 投資に取り組む機関投資家を見ると、ESG 債の保有比率は 10%程度になるため、JARC においても徐々に保有比率を上げることが望ましいと考える。当然のことながら、ESG 債の新規発行状況にもよると思うが、中長期的にそれを達成することを念頭に置くのが良いと思う。

【事務局】

本財団は、中長期的には、保有債券全体に占める ESG 債の保有割合が 10%程度になることを目指して ESG 債の取得を推進している。

以 上